



◇メガクライシスとは

クライシス(crisis)を直訳すると、「危機」という意味になります。

クライシスの語源はラテン語で「決定、転機」という意味だそうです。

つまり、一方的に悪い状態ではなく、良い方向に向かう出発点という意味も含まれ、ピンチとチャンスという両面性を持っています。

さて、9月4日にNHKにて放映された「MEGA CRISIS 巨大危機～脅威と闘う者たち～第1集 加速する異常気象との闘い」を見て感じたことをお話しします。

第1集は異常気象、特に地球温暖化との関連性が中心の話題でした。

従来、台風は東北や北海道に到来するまでに勢力が衰えたり、移動スピードが速くなるなど、甚大な被害になりにくいとの認識でした。

台風は海水温度が約27度以上になっていれば、海面より大量の水蒸気が発生し、発達しやすくなります。

今年8月中旬の日本近海の海水温度は、平年に比べて1～5度ほど高い場所が多かったといわれています。

よって、気温の高い日本の南の海上で急速に勢力を増し、強い勢力のまま東北や北海道に上陸したと考えられています。

台風の勢力が最も強くなる「最強地点」と呼ばれるエリアは、ここ30年間で150kmも北上してお

り、徐々に日本に近づいています。

地球温暖化が進むと、さらに北上するとみられ、そうなれば日本海の山形県付近まで台風が発達しながら北上して、その後偏西風によって、強い勢力のまま東北地方の日本海側に上陸することも考えられます。

では、実際どのくらいのスピードで地球温暖化は進んでいるのでしょうか。

世界の平均気温は、2000年頃から上昇が止まったかにみえましたが、2年ほど前から急上昇して2016年に過去最高気温を記録しました。

気象庁の異常気象分析検討会では、産業革命以前に比べ、今世紀末に平均気温が4度上昇したとの過程でシミュレーションを行ったところ、東京都の最高気温は43.0度となり、仙台でも40度超え、愛知県に至っては44.5度に達する恐れがあると予想しています。

また、1日あたりの最大雨量が、東京では100mm程度だったのが、310mmまで増加し、福岡県でも290mm、北海道で190mmに達するとのこと。

約4000年前のエジプト古王国とメソポタミアの王朝の崩壊、滅亡に至ったのも異常気象が原因だといわれています。

あれだけ栄華を誇った文明でも、異常気象にはかなわなかったわけです。

科学技術の進化した現在といえども、想定外の異常気象現象には為す術もないと思います。

温暖化効果ガスの問題は化石燃料による二酸

化炭素だけではなく、メタンガスの問題もクローズアップしています。

北極圏には永久凍土という、常に凍った状態の土が広がっています。

その溶け出した永久凍土から温室効果の高いメタンガスが大気中に放り出されており懸念されています。

メタンの温室効果は二酸化炭素の28倍もあり、さらに永久凍土は北半球のおよそ4分の1を占めています。

永久凍土に含まれるメタンガスは地球温暖化の予測に含まれていません。

つまり、異常気象分析検討会の予測よりも早く平均気温が上がることもあり得ることです。

また、北極海の温暖化は氷の減少に繋がりますので、太陽光を反射する機能が大きい氷が少なくなれば、周辺の気温が上昇して、水蒸気が発生します。

その結果、北極圏内に巨大低気圧が発生し、それが起こした風により氷が砕かれ、さらに気温が高まるなど、負の連鎖が加速していきます。

日本における温暖化の影響として巨大積乱雲（スーパーセル）の発生頻度が増す事も挙げられます。

短時間で急速に発達する積乱雲の幅は通常、数キロから十数キロまでと考えられています。

スーパーセルは数十キロから100キロまで発達するので、猛烈な雨や風、そして雷が大幅に増えることにより多大な損害を与えることに繋がります。

今世紀後半にはスーパーセルの発生頻度

が北海道で約3倍、東北でも約2倍と気象庁では想定しています。

1時間に100mm超の猛烈な雨が2時間以上続いた場合には、マンホールから水が噴出し、あふれた水は地下鉄に流れ込むなど、都市を完全に水没させると想定しています。

そして、これから特に注意すべきは雷です。

日本でも同時多発的に雷が起きるケースが増えており、4時間でなんと3千回もの落雷が観測された地域もあったそうです。

雷が増えて、同じ建物に何度も落ちるようならば、避雷針でも防ぎきれなくなることも考えられると指摘されています。

パソコンをはじめとした電子機器は、現代はもちろん未来においても必要不可欠な存在です。

その電子機器が「雷サージ」（落雷によりその周りに強い電磁波が発生し、周囲の電気ケーブルに異常な電流が流れること）により使用不可能にさせられることもあります。

スーパーセルと雷の組み合わせは、私たちのインフラを破壊する力を持っています。

また、ビジネスにおける生命線にも悪影響を及ぼす可能性があります。

もし病院などで「雷サージクラッシュ」が発生した場合、人命にかかわる事態にもなり得ます。

自然災害は私たち人間のライフサイクルよりも遙かに長いスパンで襲って来るものです。

何十年、何百年に一回という事でしょうが、たまたま当たってしまった、では済まされない大きな損害を被ることも考えられます。

よって、気象予報を楽観主義で見るのではなく、どちらかといえば悲観主義に見ていた方が、結果的に皆様の大切な家族の命や財産を守ることに、繋がっていくのではないのでしょうか。

◇秋の夜空の楽しみ

秋の夜空は、夏や冬に比べ、地味な星座が多く、いささか寂しい夜空となります。

日が沈み、夜空を眺めると空高くに夏の星座の名残で、前回ご紹介した夏の大三角形を構成する、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブを見ることができます。

21時頃になりますと丁度南の空低く、ぽつんと光っている1等星が輝いています。

その名は、南の魚座の「フォーマルハウト」という1等星です。

フォーマルハウトという意味はアラビヤ語に由来した「大魚の口」という意味だそうです。

中国でも呼び名が有り「北落師門」と呼ばれています。

唐時代の首都、当時世界最大都市である長安の北側にある門で北落とは北の垣根という意味で、師門とは軍隊の門のことだそうです。

南の空で光っているにもかかわらず、北落つまり北方という意味になっているのは、不可解なことですが、古代中国では北極星を皇帝の星としていて、ここを中心として東西南北を定めたからだそうです。

私は高校生時代から何となく好きな星の一つでしたので、書道の自由課題で「北落師門」と書いたり、大学時代は「フォーマルハウト」という曲を作りコンテストに参加したりして、今思うと恥ずかしいような経験をしました。

◇トンネルでの注意点

観光地などに長距離ドライブをするとき、高速道路を利用する人も多いかと思います。

トンネル内は外と遮断されているため一度事故を起こすと煙が内部に充満し、多くの人命を危険にさらしてしまいます。

まずトンネル内はどんな危険があるのでしょうか。

□トンネル進入後は周囲が急に暗くなるため、暗さに目が慣れず思わず減速する車もあります。

そのため前者との車間をつめて進入すると、減速した前車に追突する危険性があります。

□トンネルの壁が急速に後方に流れるように見えます。この強い刺激によって壁に吸い寄せられ衝突する危険があります。

□他車との距離感がつかみにくく、漫然と車線変更をすると、後続車と衝突する危険があります。

□トンネル内は暗いため、事故や故障などにより停止している車がある場合には、発見が遅れ衝突する危険があります。

□トンネルから出るとき、急な横風にあおられ、急ハンドルや急ブレーキとなってスリップする危険があります。

さて、それらの対処法ですが

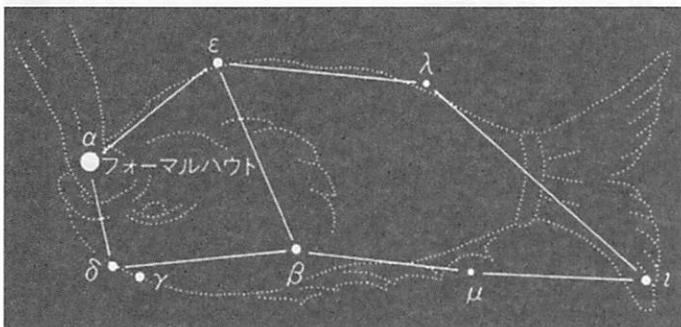
◇トンネルに進入するときは前車との車間を十分とるとともにヘッドライトを速やかに点灯し、できるだけ遠くを見るようにしましょう。

◇トンネル内では停止車両などやむを得ない場合を除いて車線変更をしないようにしましょう。

◇トンネルに入る前に電光掲示板などでトンネル内の情報を確認します。事故に遭遇した場合は煙の流れる方向とは逆方向に逃げて下さい。

◇トンネルから出るときはハンドルをしっかり持ちましょう。

安全で楽しい秋のドライブを楽しんで下さい。



◇金融リテラシー向上のために

「金融リテラシー」とは、金融に関する知識や情報を正しく理解し、自らが主体的に判断することのできる能力であり、社会人として経済的に自立し、より良い暮らしを送っていく上で欠かせない生活スキルです。

その金融リテラシー向上に少しでもお役に立てますよう、弊社では、商工会議所主催の「まちゼミ」を開催しています。

「まちゼミ」は天童市内の様々な業種の方々が市民の皆さまに対し学べる機会を提供しようとする企画となっています。

基本的にはセミナー開催は店舗や事業所内で行われます。

今回も、弊社の優秀なファイナンシャルプランナーによるセミナーを2つのカテゴリで2回行う事になりました。

一つ目は後藤陽子FPによる

□「子育てママのかしこい

教育資金積立法」



① 10月15日(土)10:00～11:30

② 10月29日(土)10:00～11:30

二つ目は大木隼人FPによる

□「若い世代のための

保険セミナー」



① 10月22日(土)10:00～11:30

② 11月 5日(土)13:30～15:00

◇新しいスタッフ紹介

10月1日より新しいスタッフが入社しました。本人よりの挨拶とプロフィールを紹介します。



この度、FPコンパスに入社いたしました永森忠大(ながもりただひろ)と申します。

皆さまよろしくお願ひいたします。

山形市出身 45歳 家族 妻 娘3人

職歴 県内地方銀行、外資系生命保険会社
生命保険乗合代理店

資格 2級FP技能士、TLP(生保協会認定FP)

日本体育協会公認指導員

ボランティア活動

日本一の芋煮会実行委員会、山形地区

小学生バレーボール連盟事務局長

信条 みんなのために

得意とすること

法人の財務状況に合わせたご提案

個人リスクマネジメント

発行者 有限会社 FPコンパス

武田幸夫 永森忠大 大木隼人 後藤陽子

多田恵子 土赤 妙 佐藤礼子 武田浩幸

〒994-0063 山形県天童市東長岡2-1-34



0800-800-1567 TEL 023-658-3512 FAX 023-658-3513

E-mail postmaster@fpcompass.co.jp